

てもらい、それらを全職員で共有して、お互いに学び合う場の設定が必要だと考えた。

ここで活用したものが Google スライドである。Google for education のアプリケーションの特性として、「全員が一斉にファイルを使用及び共有できる。」という点が挙げられる。この特性を活用し、同じファイルに全職員に実践計画の作成や実践の振り返りを記録してもらうことで、それぞれの計画や実践を共有し、学び合うこととした。

特に気をつけたことは、「ICT 活用が目的ではなく、1 単元や 1 単位時間の授業の目的達成のために本当に ICT 活用が必要であるかを考えた授業づくりであること。」「簡単に作成できるが要点を絞った実践計画であること。(実践計画作成に時間をかけすぎて、授業準備がおろそかにならないようにする。)」 「職員にとって実践が共有し易いシートであること。」の 3 つである。

**職員が作成した実践計画**

The screenshot shows a Google Slides presentation with the following content:

- Title Slide:** 単元計画として ICT 活用を位置付ける場合の記入例 (Example of recording when positioning ICT use as a unit plan). Author: 吉川 允也 (Yoshioka Akihiro).
- Introduction Slide:** ICTを活用した授業について考え、その授業の案やアイデアのうち記入できる項目をシートに入力してください。 (Think about lessons using ICT, and enter items you can record in the sheet from your lesson plans or ideas.)
- Table:** A table with columns for '学年' (Grade), '単元' (Unit), '授業' (Lesson), and '実践' (Practice). The '単元' column contains '社会' (Social Studies) and '日本の歴史 4 武士の世の中へ' (History of Japan 4: The Edo Period). The '実践' column contains '説明・発表を支援する' (Supporting explanation/presentation), '振り返り・評価する' (Reflection/evaluation), and '関心・意欲を高める' (Increasing interest/motivation).
- Implementation Steps:**
  1. 学習計画を練ります。
  2. 実践前・実践後に行った様々なことについて調べ、1時間。
  3. ①で調べたことを「授業」に近いその授業の文化「その他」の観点でグループごとにスプレッドシートに入力していきます。(2時間)
  4. 授業上がスプレッドシートを見て、グループごとに意見交換し、活動のために必要なことを考え、次の実践に活かすための観点を導く。
  5. 単元のまとまり、出た意見交換や活動のための実践計画を練りました。Google Formsで作成した実践計画用紙を参考に。

**職員が作成した実践の振り返り**

The screenshot shows a Google Slides presentation with the following content:

- Title Slide:** ICT活用授業 振り返りシート (ICT活用授業 振り返りシート). Author: 吉川 允也 (Yoshioka Akihiro).
- Table:**

教科名等	社会
単元名等	4 武士の世の中へ
記入者名	吉川 允也
- Reflection Questions:**
  1. 活用意図(目的達成)に対する達成はできましたか?子どもたちの具体的な様子から授業を振り返り、ご記入ください。
  2. 今回の、先生が選択されたICT機器及びアプリを授業で使ってみて、どうでしたか?授業の振り返りや感想及び反省等をご記入ください。

【資料4 ICT 活用授業実践計画及び授業の振り返り】

(3) 仮説3について

研修で学んだことを実践で活用することで、より職員の資質向上につながる。活用するためには、研修したことをしっかりと把握する必要があるが、実際に活用する段階になると、「実践しようとしたが、研修の内容を忘れてしまい、実践に生かすことができなかった。」ということもある。つまり、研修内容を振り返ることのできる環境を設定することは、自主的な研修のためには、欠かせない要素である。

そこで、2つのアプリケーションソフトを活用し、研修内容を振り返りやすい環境を整えることとした。

**ア Google classroom を活用した研修内容の蓄積による復習及び共有**

Google classroom の「ストリーム」に毎回の研修で活用した資料や共通実践事項等を必ず投稿することにした。それにより、前回の研修を復習したり、方向性を確認したりすることや、職員がいざ実践しようとした際の研修内容の確認につなげることとした。

The screenshots show the Google Classroom interface with the following details:

- Left Screenshot (May 23, 2022):** Stream post titled '5月23日職員研修' (Teacher Training on May 23). The post includes a lesson plan for 'ルーティン タイピング' (Routine Typing) and a PDF titled 'プログラミング教育.pptx' (Programming Education). A QR code is also visible.
- Right Screenshot (September 24, 2022):** Stream post titled '9月26日(月) 10月3日(月) の研修で活用する資料です。' (Materials used in training on Sept 26 and Oct 3). The post includes a lesson plan for 'ICT活用授業 振り返り' (ICT活用授業 振り返り) and a PDF titled 'Google for education 使...' (Using Google for Education).



【資料5 ICT活用授業実践計画及び授業の振り返りの例】

イ See-Smile を活用した、研修で確認した機器やアプリケーションの操作方法のマニュアル化  
5月頃、職員から「ICT機器の使用方法等マニュアルをまとめてもらえたら、より授業で活用しやすい」と相談があった。

そこで、研修で確認したICT機器を常に使えるよう、操作方法をマニュアル化して整理することは、職員が主体的に研修を進めていく上で必要だと感じ、See-Smileの校内様式集の中に以下のようにまとめることとした。



【資料6 See-Smileの校内用式集を活用したマニュアル化】

ウ ICT機器の整備及び一覧表の作成

ICT機器の使用方法のマニュアル化と同時に、より職員が様々な機器を使用しやすいように様々な機器の保管場所を整備し、一覧表を作成することとした。



【資料7 ICT機器一覧表】